

令和元年度事業報告

公益財団法人調布ゆうあい福祉公社

目次

1	会社の現状	1
2	令和元年度の振り返り	1
(1)	法人運営	1
ア	健全な公社経営	1
イ	運営体制の強化・整備	2
ウ	施設改修の計画・準備	2
(2)	事業運営	3
ア	介護予防の取組	3
イ	地域の福祉人材の発掘・育成に向けた研修の充実	3
ウ	認知症当事者と家族介護者支援の拡充	3
エ	医療介護連携の推進	4
オ	地域共生社会の推進	4
3	重点プロジェクト	4
(1)	ケースカンファレンス（事例検討会）の推進	4
(2)	だれでもカフェ（認知症カフェ）の充実	5
(3)	先駆的な家族介護者向け支援の創出	5
(4)	調査研究開発の推進	6
(5)	福祉人材の育成・発掘に向けた研修の充実	7
4	実施事業	8
(1)	住民参加を基盤としたインフォーマルサービスの拡充	8
ア	有償在宅福祉サービス事業	8
イ	生活支援コーディネート事業「ちょこっとさん」	12
ウ	在宅福祉サービスに関する相談事業	13
(2)	認知症施策の推進－認知症当事者とその家族への支援－	14
ア	認知症サポーター養成講座事業	14
イ	家族介護者支援事業	14
(3)	フォーマルサービスの充実	16
ア	調布市国領高齢者在宅サービスセンター事業	16
イ	調布市地域包括支援センターゆうあい事業	19
ウ	軽度生活援助事業	25
(4)	介護保険事業（自主事業）による自立支援の推進	26
ア	訪問介護事業，障害者訪問介護事業	26
イ	居宅介護支援事業，介護保険要介護認定調査事業	27
ウ	デイサービスぷちぼあん事業	28

(5)	公益法人として先駆的な役割を果たすための事業の推進	30
ア	普及啓発事業	30
イ	人材育成事業	33
ウ	調査研究開発事業	35
(6)	健全な公社運営	36
ア	法人運営及び組織体制の強化・充実	36
イ	自主的, 自立的経営に向けた財政基盤の強化	38
5	その他の報告事項	39
(1)	役員等及び会議に関する事項	39
(2)	公社外部委員会等一覧表及び実習生受入実績	41
(3)	職員研修の実績	42
(4)	事業報告書附属明細書について	46

1 会社の現状

平成30年に、設立30周年を迎えた公益財団法人調布ゆうあい福祉公社（以下「公社」という）ですが、超高齢化の進展や単身高齢者の急増等、設立当時とは劇的に変貌した社会情勢のなかで、組織として「市民相互の助け合いと、自立支援のための質の高いサービス提供を通じて、あたたかい地域づくりを目指す」の理念を掲げ、その役割は重要性を増しています。

公社の理念は、国の掲げる地域共生社会の実現に通じるもので、30年の時を経て、いささかも色褪せるものではありません。

しかしながら、度重なる介護保険報酬等の改定や雇用情勢の変転、また労働人口の減少から高齢者が労働力として期待される社会の出現等の要因から、公社を取り巻く環境は、設立当時とは大きく異なり、混とんとしています。

一時は、公社もそうした荒波を受け、収支のバランスを欠いた時期もありましたが、現在はその教訓から学び、収支バランスについては適切な均衡を保っています。しかし一方で、事業所のスペースや人間的な限界、また、恒常化しつつある職員の欠員や協力会員の不足等の要因から、事業規模の拡大を図ることが難しいといった課題も抱えています。

調布市は、令和3年4月から地域包括支援センター事業を、改編した現況の福祉圏域に合わせて展開するために、令和元年度に、地域包括支援センター事業受託事業者決定のプロポーザル審査を実施しました。併せて、各福祉圏域に地域福祉コーディネーターを配置するなど、8つの福祉圏域を強く意識した福祉施策の展開を鮮明にしています。

一方、現下の最重要課題は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止です。

本年1月頃、中国で流行の兆しが見え始めてから、わずか2カ月余で世界中を席卷し、未だその猛威に衰えの気配は窺えない状況です。公社でも、2・3月には、改めて衛生管理の徹底に取り組むとともに、人を集める事業を中止しました。さらに現在は、4月7日に発せられた国の緊急事態宣言を受けて、サービスを利用されておられる方々や協力会員の生活や生命を守る観点から、今後の事業展開を検討している最中です。これまで、誰も経験をしたことのない未曾有の事態ではありますが、職員一丸で乗り切って参ります。

令和2年度は、第2次中期計画の中間点に当たり、前半3年度を振り返っての後半3年度の計画修正等を行う予定ですが、そのなかで、前述の現状を踏まえた今後の公社の事業展開の方向性についても、検討をして参ります。

2 令和元年度の振り返り

(1) 法人運営

ア 健全な公社経営

公社が展開する事業は、その財源が調布市からの補助金によるもの、委託料によるもの、また、自主財源によるものと、大きく三つの種別に分類されます。このうち補助金と委託料による事業については、毎年度、予算の範囲内で事業を満了し、精算を行っています。

かつて公社は、入間町地域密着型認知症デイサービスぷちぼあん事業、居宅支援事業、並びに訪問介護事業の自主三事業総体で、赤字決算が複数年続いた時期がありました。幸い、その後の経営努力で収支は改善し、近年は自主事業においても継

続いて安定した経営を維持し、令和元年度も黒字決算を計上しました。その内容ですが、入間町地域密着型認知症デイサービスぷちぼあん事業と訪問介護事業では、年度を通じて職員が充足しなかったことから、合算で黒字決算となったものの、昨年と比較して事業規模は縮小しました。居宅支援事業では、特定事業所加算を取り下げたことから、大幅な減収となり、事業単体では赤字決算となりました。この結果、自主三事業総体での事業規模は、前年度より縮小しましたが、収支は黒字決算を維持しました。

引き続き公社経営を健全に保つために、事業展開に必要な人員の確保や、特定事業所加算の再取得に努めて参ります。

イ 運営体制の強化・整備

令和元年度は、年度を通じて、公社のいずれかの係で常勤・非常勤を問わず、職員の欠員状況が発生するなど、近年、日本の社会全体が抱える課題でもある「働き手の不足」、「離職者の増加」が、公社においても顕著になった年度でした。これにより、通常の業務が滞ることはなかったものの、規模の縮小等を余儀なくされた事業が出るなど、影響は少なくありませんでした。

協力会員の確保についても同様に、難しい状況が続き、食事サービス・ホームヘルプサービスについては、年度を通して担い手の確保に追われた年度となりました。人材の確保と育成については、現況の社会情勢や雇用情勢を鑑みると、今後、公社が最優先に取り組むべき課題です。国が進める働き方改革への対応では、時間外の縮減と年次有給休暇の消化については、組織的な取組を行い、目標を達成しました。同一労働同一賃金については、様々な観点から公社における課題や改善すべき問題点等の洗い出しを行いました。これを受け、令和2年度は、職種や職層に応じた職能要件の整備を目指して参ります。

令和元年度は、管理職を対象として試験的に人事評価制度を導入しました。令和2年度は、これを検証するとともに、係長職以下の正規職員にも、対象を広げる予定です。

調布市の福祉圏域の改編に伴い、令和元年度に実施された令和3年4月からの地域包括支援センター事業受託事業者を決定するプロポーザル審査では、公社の担当する事業エリアの一部変更が決定しました。令和2年度は、これを見据え着実に準備を進めて参ります。

ウ 施設改修の計画・準備

課題であった浴室等の施設改修については、調布市と協議を重ねた結果、令和元年度の予算措置ができませんでしたので、令和2年度に施工、完了させる予定で、準備を進めて参ります。

(2) 事業運営

ア 介護予防の取組

高齢期のフレイル予防とフレイル状態からの回復は、健康長寿のカギと言われていいます。公社では、総合事業通所型市基準サービス（市基準）を、令和元年度から月曜日を追加し、水・金曜日と含め、週3回開催しています。利用者数は増加しましたが、それ以上に地域での需要が見込める状況です。施設に制約はありますが、引き続き調布市と連携し、事業展開の拡張を検討して参ります。

また、社会と繋がりを持つことや、そのような活動を行うことは、介護予防にも有益であると言われてはいますが、公社の協力会員活動はその好事例になります。引き続き広く、市民の皆さんにその活動を紹介し、参加への呼び掛けを行って参ります。

イ 地域の福祉人材の発掘・育成に向けた研修の充実

新たに協力会員になられた方は、17人でした。一方で、高齢化等の事由から活動が難しくなり、休会する方や退会者は40人で、ニーズに対する人員は充足していない状況です。

令和元年度は、職員が定期的に市内の各地域福祉センターで、協力会員募集説明会を開催するなど新たな取組を実施しましたが、十分な参加者が集まらず、期待していた効果が出ませんでした。ターゲットとする年齢層や事業を告知する媒体等を工夫し、引き続き、令和2年度も実施して参ります。

協力会員研修では、対人支援に必要な「傾聴について」、認知症ケアの「ユマニチュード」、医療知識として「胃痛について」の3件のテーマを企画し、実施しました。今後も、活動の場で活かせる実践的な研修の企画をして参ります。

社会福祉士の実習では、4校、4人を受入れました。在宅支援について、総合的に展開していく視点や手法等を学んでいただくことができました。また、介護職員初任者を始めとした23件の専門職研修に職員を派遣し、福祉サービスを実践する公社の社会的使命を果たしました。

介護職を対象とした介護技術勉強会（介護職カフェ）は、就業を終えた各介護事業所のスタッフが自発的に集まり、より良いサービス提供を模索する絶好の学びの場となっています。

ウ 認知症当事者と家族介護者支援の拡充

認知症サポーター養成講座事業では、1,159人の受講者があり、平成29年度に事業を受託してからの累計者数は、4,217人になりました。講座を受講したサポーターへの支援としては、さらに学びを深化させるために認知症サポーターの活躍の場リストを配布したほか、フォローアップ研修として、認知症の方の世界を知る講座を開催しました。

ケアラーの支援については、ケアラー支援マップを更新し、8月に市内全戸に配布しました。新たな取組として、マップに掲載したケアラー支援団体に呼びかけ、意見交換会や学習会を開催し、交流と学びの場を提供しました。

だれでもカフェは、新型コロナウイルス感染症の拡散防止の観点から、2月、3月の開催は中止しましたが、延べで230人を超える利用者を集め、介護技術講座の

開催や参加者が即席の演奏会を開くなど、楽しいひと時が過ごせる場となりました。

デイサービスでは、認知症の行動・心理症状（BPSD）の改善を目的として、「日本版BPSDケアプログラム」を導入しました。ここでアドミニストレーター養成研修を受講した職員は、他の一般介護職員と協力して、現場でのより良いケアの実践に取り組んでいます。

エ 医療介護連携の推進

市内福祉団体や職能団体、また、行政機関の会議に、委員や評議員として参画し、多職種が協働して構築する医療介護連携に努めました。令和元年度も、調布市の地域連携会の一員として、調布市医師会や介護支援専門員調布連絡協議会など、市内8団体と「第2回ちょうふ高齢者応援大会」を開催しました。

オ 地域共生社会の推進

福祉講演会では、「これからの地域共生社会とは～誰もが住みやすいと思える調布を目指して～」と題して、公益財団法人さわやか福祉財団理事長の清水肇子氏に、講演をしていただきました。

講演では、「なぜ助け合いが必要なのか」、「人生100年時代はどういう社会なのか」等についてお話いただきました。ご来場の方々と、世代や分野を超えて地域社会を創っていく大切さや、現に行われている調布市の助け合い活動の状況等について共有しました。

公社で活動している協力会員が、主体的に関わる「こくりょう子ども食堂わいわい」には、公社も側面からの運営支援をしました。多世代交流の場として、例年企画をしている親子料理講座については、新型コロナウイルス感染症の拡散防止の観点から中止しました。

3 重点プロジェクト

(1) ケースカンファレンス（事例検討会）の推進

	事業内容	目標値 令和元年度	実績
第2次中期計画 目標・成果指標	ケースカンファレンスの実施	月1回 公開研修1回	年12回 公開研修1回 外部連携3回
	ゆうあいチャレンジプログラム	1回 外部連携実施	1回
評価等	○ケースカンファレンスの実施 住民参加・居宅介護支援・地域包括支援センターの相談職を中心に、延べ248人(職員以外12人含む)が参加して資質向上や自己研鑽を目的に、経験、知識を広く共有し、相談対応力の向上につながりました。また、社会福祉士の資格取得を目指す学生の実習プログラムにも組み込み、学びの場を提供しました。		

	<p>○ゆうあいチャレンジプログラム</p> <p>ケースカンファレンスの意義、相談援助職による倫理の確認、職員間の信頼関係の強化ワークを実施することで、職種を超えた連携、協力体制の強化につながりました。</p>
--	--

(2) だれでもカフェ（認知症カフェ）の充実

	事業内容	目標値 令和元年度	実績
第2次中期計画 目標・成果指標	だれでもカフェこくりょう	① 月1回 若年性認知症 当事者含む ② 若年性認知症 当事者とその 家族を対象に 実態把握	① 年10回 (延べ利用者233人) ② 未実施
	だれでもカフェぷちぼあん	不定期開催	1回(利用者2人)
評価等	<p>○だれでもカフェこくりょう</p> <p>参加者によるハンドマッサージ、フルーツ演奏等を行い、毎回盛況を博しますが、新型コロナウイルス拡散防止のため、2月、3月は中止としました。若年性認知症当事者の新規の参加はなく、事態把握には至りませんでした。認知症の方も家族と定期的に参加し、安心して過ごされ、家族介護の負担軽減につながっています。また、男性介護者の会からはケアラーを支えるグループの学習会へ参加するなど広がりが伺えます。引き続き、社会資源の一つとして新たなボランティアを募り、定期開催して参ります。</p> <p>○だれでもカフェぷちぼあん</p> <p>2月に開催しましたが、雨天で周辺を往来する方もなく、参加者は少ない結果となったため、時期や集客方法を検討して参ります。</p>		

(3) 先駆的な家族介護者向け支援の創出

	事業内容	目標値 令和元年度	実績
第2次中期計画 目標・成果指標	家族介護者向け介護技術講座	① 家族介護者向け介護技術講座2回 ② 家族介護者向け出張介護技術講座 随時	① 2回 ② 実績無
	ホームヘルパー出張派遣	本年度事業化 年12件	相談件数4件 実施件数1件 訪問延件数1件

評価等	<p>○家族介護者向け介護技術講座 参加者の介護経験や考え方などの情報交換も交えながら、実際に困った場面を伺い、床からの起き上がり介助について実演しました。</p> <p>○家族介護者向け出張介護技術講座 地域の集まり等で呼び掛けを行いましたが、依頼がありませんでした。</p> <p>○ホームヘルパー出張派遣 本年度より事業化し、支援センター連絡会にて広報を行い、調布市高齢者支援室にもチラシの配架をお願いしました。目標件数には届かないものの、一定のニーズはあり、事業の必要性が認められました。</p>
-----	--

(4) 調査研究開発の推進

	事業内容	目標値 令和元年度	実績
第2次中期計画 目標・成果指標	住民参加型サービスに関するアンケート調査（内部調査）	調査結果を分析し、事業改善に反映	アンケート結果を受け、30分単位のホームヘルプサービスを開始
	新規・改善事業調査	新規，改善提案，実施に向けた調査	令和元年7月に職員等の事業提案実施（提案18件，うち令和元年度以降の事業に取込むもの6件，担当等で検討を要するもの9件）
	介護予防，フレイル予防調査（実証研究調査）	調査方法の検討・ニーズ把握	集積したデータを取りまとめ，発表するとともに，ホームページに公開しました。
	ホームヘルパー出張派遣	令和元年度事業化年12件	相談件数4件 実施件数1件 訪問延件数1件
評価等	概ね目標を達成し，推進が図れました。		

(5) 福祉人材の育成・発掘に向けた研修の充実

	事業内容	目標値 令和元年度	実績
第2次中期計画 目標・成果指標	介護職カフェ (介護技術勉強会)	4回以上	4回(延べ18事業所 延べ48人参加)
	福祉専門職スキルアップ研修 ① 介護技術勉強会 ② ケアマネカフェ ③ ちょうふ高齢者応援大会	2回以上	3回 (延べ279人参加)
	各種研修の実施	① 協力会員、登録ボランティアなどへの研修の充実 ② 公社運営に携わるプロパー職員への研修の充実	① 参加者147人 ② セルフキャリアドッグ実施 令和元年11月5日(火) 参加者21人/正規職員
	評価等	<p>○介護職カフェ 毎回、地域の事業所から参加があり、技術向上だけでなく、他事業所間の交流や情報交換等ネットワーク形成の一助となりました。</p> <p>○福祉専門職スキルアップ研修 ①介護技術勉強会 地域の介護事業者職員向けに、ちょうふリハビリテーション連絡協議会から、リハビリ専門職を講師に迎え、介護技術の習得、スキルアップを図りました。</p> <p>②ケアマネカフェ ケアマネジャー向けに薬剤師の役割について調布市薬剤師会の理事を講師に迎え、医療連携の方法等講義後、多職種間のワークを交えてスキルアップを図りました。</p> <p>③ちょうふ高齢者応援大会 医療・福祉の市内8団体が協働し安心して暮らせる仕組みやネットワーク作りができ、広く市民に広報しました。</p> <p>○各種研修の実施 活動研修のほかユマニチュード(認知症ケア)、傾聴を学ぼう等、実践に繋がる研修を実施しました。今後も希望を伺いながら、活動に役立つ研修を実施して参ります。</p>	

4 実施事業

(1) 住民参加を基盤としたインフォーマルサービスの拡充 ア 有償在宅福祉サービス事業

第2次中期計画 目標・成果指標		目標値 令和元年度	実績
	利用会員数（世帯）	300 世帯	284 世帯
	協力会員数	310 人	283 人
	協力会員説明会（定期・随時）	35 回以上	28 回
評価等	<p>○利用会員数（世帯） 食事サービス利用世帯は伸びましたが、ホームヘルプサービス利用世帯が減少したため、目標値には届きませんでした。</p> <p>○協力会員数 食事サービスに携わる協力会員は増加しましたが、年度更新に伴う退会や未稼働会員の退会が重なり、目標には届きませんでした。</p> <p>○協力会員説明会（定期・随時） 地域福祉センター等への出張開催を増やしましたが、個別による開催が少なく、目標には届きませんでした。</p>		

(a) 利用会員の状況

令和元年度末の登録世帯数は284世帯となり、目標としていた300世帯には届きませんでした。ホームヘルプサービス、食事サービスの提供を通して、ソーシャルワーカーが関係機関とも連携しながら日常生活を支援しました。支援が必要な時に入会する等、生活実態に合わせて利用する方や、協力会員と会えることや会話をすることを楽しみにしている会員も多く、約32%の会員は介護保険制度を利用せず生活されています。引き続き、市民相互の助け合いにより利用会員の生活を支援して参ります。

(単位：世帯)

区分	令和元年度	入会・退会	増減	平成30年度
高齢者	264(93.0%)	(入会) 154 (退会) 152	2	262(91.9%)
障害者	12(4.2%)	(入会) 10 (退会) 13	△3	15(5.3%)
病弱者	4(1.4%)	(入会) 0 (退会) 1	△1	5(1.8%)
ひとり親家庭等	4(1.4%)	(入会) 1 (退会) 0	1	3(1.0%)

合 計	入会	—	165	—	—
	退会	—	166	—	—
	年度末世帯数	284(100.0%)	—	△1	285(100.0%)
	会員数	358人	—	17	375人

(b) 協力会員の状況

令和元年度末の登録人数は283人で目標には届かず、担い手不足の状況が続いています。助け合い活動の停滞や既存会員への負担、コーディネートの難しさも増しています。活動状況では食事サービスに携わる協力会員は若年者も含め増加しましたが、ホームヘルプサービスの協力会員は地域により少ない状況が続いています。会員募集では地域福祉センターにおける登録説明会の開催や、調布市全戸に配布した広報紙による活動紹介等、引き続き、地域の助け合いを広げていくため、一人でも多くの方に活動をご理解いただき、登録につながるよう取り組んで参ります。

(令和元年度実績)

区 分	協力会員	月平均
入会者	17人	1.4人
退会者	40人	3.3人
令和元年3月末登録者数 (平成31年3月末)	283人 (306人)	—
月末登録者累計人数	3,312人	276.0人
活動者実数(各月合計)	1,901人	158.4人
ホームヘルプサービス	903人	75.3人
食事サービス	998人	83.2人
活動率(平成30年度活動率)	51.8%(51.5%)	

※ 活動者実数は、複数の活動に参加する会員もいるため、内訳の合計とは一致しない。

※ 活動率(%) = 活動者実数 ÷ 月末登録者累計人数

(c) ホームヘルプサービス

令和元年度は、延べ903人の協力会員が、延べ1,839世帯へ8,059.5時間のサービスを提供しました。会員アンケートの声を反映し、5月からサービス提供時間を1時間から30分単位とする制度を導入したところ、利用会員からは「使い勝手が良くなった」、協力会員からは「空いた時間を別の予定に使える」等、会員双方から好評を得ました。引き続き、会員双方のニーズに応えながら、地域の助け合い活動を広げて参ります。

(対象者別利用時間数及び回数)

区 分		令和元年度		平成30年度	
		合 計	月平均	合 計	月平均
利用者数		1,839世帯	153.3世帯	1,903世帯	158.6世帯
利用回数		5,818回	484.8回	6,588回	549.0回
高齢者	総 数		7,379.5時間	615.0時間	7,345.0時間
		単身	3,048.0時間	—	2,508.0時間
		夫婦	1,526.5時間		1,590.5時間
		同居	2,805.0時間		3,246.5時間
障害者		391.5時間	32.6時間	1,544.0時間	128.7時間
病弱者		243.5時間	20.3時間	236.0時間	19.7時間
ひとり親家庭等		45.0時間	3.8時間	1,602.0時間	133.5時間
利用時間 計		8,059.0時間	671.6時間	10,727.0時間	893.9時間

(d) 食事サービス

令和元年度は延べ998人の協力会員が4万8,225食を提供しました。昨年に比べデイサービスの提供は減少しましたが、会員配食が3万5,072食と、約4.3%増加しました。また、事業を担う協力会員も月平均83.2人の活動となり、40歳代以下の新たな加入や活動終了年齢を73歳から75歳に引き上げて人員の確保に努めた結果、昨年を上回る実績となりました。引き続き、事業を通して元気高齢者の活躍の場の提供、及び安心安全で美味しい食事を提供して参ります。

食事サービス利用状況

区 分		令和元年度		平成30年度	
		延べ合計	月平均	延べ合計	月平均
会員利用者数		1,908人	159.0人	1,767人	147.3人
利用総食数		48,225食	4,018.8食	47,446食	3,954.0食
	会員配食	35,072食	2,922.7食	33,573食	2,797.8食
	国領通所	7,320食	610.0食	8,210食	684.2食
	ぷちぽあん	2,162食	180.2食	2,673食	222.8食
	その他	3,671食	305.9食	2,990食	249.2食

食事サービス週当たり利用日数／各年度3月利用者 (単位：世帯)

区 分		週 1	週 2	週 3	週 4	週 5	週 6	週 7	合計
昼食	令和元年度	2	8	7	2	4	2	6	31
	平成30年度	3	3	5	4	6	2	3	26
夕食	令和元年度	12	18	15	11	9	4	10	79
	平成30年度	10	18	17	11	6	2	15	79
昼夕食	令和元年度	1	0	3	0	4	2	13	23
	平成30年度	1	0	3	2	3	1	13	23
合計	令和元年度	15	26	25	13	17	8	29	133
	平成30年度	14	21	25	17	15	5	31	128

食事サービス月当たり利用者区分／各年度3月利用者 (会員)

区 分		令和元年度		平成30年度	
		世帯数	人 数	世帯数	人 数
高齢者	単 身	64世帯	64人	66世帯	66人
	夫 婦	31世帯	48人	31世帯	41人
	同 居	30世帯	37人	24世帯	30人
障害者		3世帯	3人	3世帯	3人
病弱者		2世帯	2人	2世帯	2人
ひとり親家庭等		3世帯	5人	2世帯	4人
合 計		133世帯	159人	128世帯	146人

※各区分の人数は世帯員等の内3月食事サービス利用者

(e) 福祉施設へのサービス提供 (ホームヘルプサービス・食事サービス)

認知症高齢者グループホーム「こぶしの花深大寺」にホームヘルプサービスとして、協力会員を派遣して手作りの家庭的な食事を提供しました。

入間町デイサービスぷちぼあん及び調布市国領高齢者在宅サービスセンター、子ども家庭支援センター「すこやか」の利用者へ継続的に食事サービスを提供しています。また、ひだまりサロンYY、わかば作業所の家族会等にもご利用頂きました。

(f) 会員交流事業

公社会員 (利用・協力・賛助) を対象に、会員相互の交流を図る目的で、深大寺散策を企画して、境内の散策、国宝白鳳仏を拝観して深大寺そばを堪能しました。

12人の方にご参加頂き、交流を深めることができました。

(g) 会員慶弔

利用会員の誕生日にご自宅を訪問し、ミニブーケを届けました。逝去に際しては、弔電で弔意を表しました。

イ 生活支援コーディネート事業「ちょこっとさん」

第2次中期 計画 目標・成果 指標	項目	目標値 令和元年度	実績
	利用件数	140 件	117 件
	登録ボランティア数	110 人	110 人
評価等	<p>○利用件数 昨年と比べ1月から相談件数は増えてきましたが、日程や内容が合わないケースや受付時の助言等で自己解決できた等、利用には至りませんでした。引き続き、稼働できるボランティアの確保、事業の広報に努めます。</p> <p>○登録ボランティア数 目標値には達しましたが、いつでもどこでも稼働できるボランティアを増やす取組が求められています。事業の趣旨、地域の助け合いを周知して参ります。</p>		

ソーシャルワーカーが、ひとり暮らし高齢者などから、電球交換や荷物の上げ下ろし等のちょっとした困りごとを引き受け、登録ボランティアが解決しました。ソーシャルワーカーが関わることで、「ちょっとした困りごと」の解決と併せ、ひとり暮らし高齢者の孤立防止やソフトな見守り等の支援ができました。

本事業が、住民参加型で行われることで、地域社会のコミュニケーションの活性化の一助になると考えています。令和元年度は目標には届きませんでした。機関紙や介護支援専門員調布連絡協議会等で広報に努めた他、専用チラシの作成に取り組みました。引き続き、困りごと解決の他、見守りや市民の活躍の場の提供等、適切なコーディネートに努めて参ります。

事業名	実施内容	利用件数、参加者数等
生活支援コーディネート事業「ちょこっとさん」	30分程度でできる「ちょっとした」お手伝いをソーシャルワーカーが登録ボランティアをコーディネートして、困りごとを解決	相談件数：163件（うち新規：61件） 利用件数：117件（うち新規：38件） 登録ボランティア：110人 ※登録ボランティア説明会は、協力会員説明会と合同開催

ウ 在宅福祉サービスに関する相談事業

	実施内容	目標値 令和元年度	実績
第2次中期計画 目標・成果指標	受付窓口（電話，来所，訪問など）対応の充実	受付窓口担当の配置	受付窓口担当を配置
	休日，夜間の電話相談の受付体制（地域包括支援センター，居宅介護支援）	営業時間外の専門職による受付体制	営業時間外は専門職が携帯電話で受付
評価等	<p>○受付窓口（電話，来所，訪問など）対応の充実 時間帯により混雑する受付窓口を担当者を配置して来所者の案内や利用者の誘導など適切に行いました。</p> <p>○休日，夜間の電話相談の受付体制（地域包括支援センター，居宅介護支援） 午後6時15分以降は携帯電話へ転送により受付（地域包括支援センター，居宅介護支援）と法人留守番電話による伝言受付により適切に行いました。</p>		

高齢者を中心に，障害者，病弱者及びひとり親家庭等の総合相談の窓口として，在宅生活における介護などの様々な相談に応じました。また，地域の機関と連携しながら，公社の持つ情報やネットワークを駆使し，問題解決に向けた支援を行いました。365日対応することで，市民にいつでも相談できる安心感を与え，信頼を築くことができました。

医師及び弁護士による相談事業は，個人に限らず市内の事業所の専門職等にも門戸を広げ，地域で福祉や介護サービスを担う人材へのサポートや資質向上に努めました。

事業名	令和元年度	平成30年度	備考
在宅福祉サービスに関する生活相談	電話	9,300件	9,771件
	来所	854件	810件
	訪問	3,299件	3,497件
	その他※	2,137件	2,671件
	計	15,590件	16,749件
医師による健康相談	内科	5件	9件
	精神科	9件	12件
弁護士による法律相談	7件	10件	弁護士による相談
福祉用具などの相談，貸出，紹介	234件	231件	貸出件数
総合計	15,845件	17,011件	

※ 電話・来所・訪問の分類に入らない手段（事業利用時・メール等）での相談。

(2) 認知症施策の推進－認知症当事者とその家族への支援

ア 認知症サポーター養成講座事業

第2次中期計画 目標・成果指標	事業名	目標値 令和元年度	実績
	認知症サポーター数（年度）	1,000人以上	1,159人
	認知症サポーターフォローアップ研修	2回 (100人以上/1回)	1回 26人
評価等	<p>○認知症サポーター数（年度） 目標値以上のサポーターを養成できました。</p> <p>○認知症サポーターフォローアップ研修 地域参加の契機となるフォローアップ研修参加者の年齢層が変化していません。幅広い年齢層の参加が課題となっています。</p>		

認知症になっても、安心して暮らし続けられるまちを目指して、地域の自治会や企業、学校など幅広い世代に向け、本講座を開催し、認知症の方やその家族の応援者となる認知症サポーターの養成に努めました。併せて、認知症サポーターとなった方々に「活躍の場」を情報提供するために「認知症サポーターの活躍の場リスト」を年1回最新の情報に更新・作成し、受講後のサポーターに配布しました。

また、「認知症当事者の世界を模擬体験する研修」としてフォローアップ研修も実施しました。認知症当事者の方の世界の見え方について、講義や当事者の方の感覚を模擬体験するグループワークを通し、当事者の方の理解を深めました。

事業名及び内容		回数	参加者数
認知症サポーター養成講座	地域で開催される認知症サポーター養成講座の実施、キャラバンメイトの調整・派遣	37回	1,159人
認知症サポーターフォローアップ研修	認知症当事者の世界を知るための講義、グループワーク形式の研修	1回	26人
認知症サポーターの活躍の場リスト	認知症サポーターの活躍の場の情報を更新・発行し市内全戸配付	1回	—

イ 家族介護者支援事業

家族介護者にとって安心できる居場所の提供や、市内にある「家族介護者の居場所」等の情報提供、また自宅で介護している家族に有効な介護技術の講習会を開催することで、家族介護者を支援しました。

介護している家族の方が一息つける居場所を提供するため「だれでもカフェ」

を月1回定期的に開催していましたが、2月、3月は新型コロナウイルス感染症拡散防止のため開催を中止しました。市内の家族介護者の居場所の情報として発行している「ケアラー支援マップ」は最新の情報に更新し、市内全戸に配付しました。家族介護者向けの介護技術講座は年2回開催したほか、神代団地自治会へ出張し、開催しました。

ケアラー支援マップに掲載されている15の団体より、かねてから希望のあった、意見交換会を初めて開催し、各団体との情報共有、意見交換を行いました。また、その意見交換会のなかで出た「ケアラー支援の基本を学びたい」との要望を受け、ケアラー支援についての学習会を開催し、支援の理解を深めました。

	事業名	目標値 令和元年度	実績
第2次中期計画 目標・成果指標	だれでもカフェ	200人	235人
	認知症高齢者等を介護するケアラー（介護者）支援マップ	更新・発行	1回更新・発行
	家族介護者向け介護技術講座	15人（出張介護技術講座含む）	9人（出張介護技術講座含む）
評価等	認知症当事者や家族介護者の参加数は横ばいのため、必要とする方に届くよう、より効果的な広報が課題となっています。家族介護者向け介護技術講座は参加者一人ひとりの困りごとに沿いながら実施できました。		

事業名	実施回数	参加者数	備考
家族介護者支援事業	月1回 (計10回)	参加者 延べ235人	○だれでもカフェこくりょう(毎月第4日曜日)※10の筋力トレーニング、ハンドベル、ハンドマッサージ、男性介護者のつどい等 ○だれでもカフェぷちぼあん(不定期：令和2年2月16日)※家族介護者向け介護技術講座開催

	調布市認知症高齢者等を介護するケアラー支援マップの改訂	年1回	発行12万5,000部 (内12万3,000部を市内全域にポスティング, 2,000部を関係機関に配架等)	令和元年8月1日広報紙ゆうあい18号にて第8版を掲載。ケアラーを支えるグループ15件(新規1件), 相談窓口, 地域密着型サービス, 研修会等の情報を掲載
	家族介護者向け介護技術講座	年2回	7人	「知って安心, 自宅での介護のコツ」 ① だれでもカフェこくりょう開催時実施 令和元年7月28日(日) 参加者4人 ② だれでもカフェふちぼあん開催時実施 令和2年2月16日(日) 参加者5人
	ケアラーを支えるグループの意見交換会	年1回	11団体 30人	各団体の活動発表, グループワークによる意見交換
	ケアラーを支えるグループの学習会	年1回	10団体 46人	講義「ケアラー支援とは何か」, ワークショップ ケアラーのロールプレイ
	ホームヘルパー出張派遣	年12件	相談 4 件 実施 1 件 訪問延1件	介護保険申請中または介護保険要介護認定を受けている方を対象に2回を限度に無料で公社のヘルパーを派遣

(3) フォーマルサービスの充実

ア 調布市国領高齢者在宅サービスセンター事業

第2次中期計画 目標・成果指標	目標値 令和元年度		実績
	延べ利用者数	9,340人	
延べボランティア数	820人	683人	
評価等	○延べ利用者数 利用者数においては, 総合事業通所型サービス(市基準)では利用者の増員を実現しましたが, 全体としては新規受入や増回が困難な状況が続き,		

	<p>目標を下回りました。</p> <p>○延べボランティア数</p> <p>ボランティアについては今後もチラシや紹介を継続し、新規受入を積極的に行って参ります。</p>
--	---

利用者の個別状況について、職員間で情報共有しつつ、定期的に通所介護計画の見直しを行い、様々な季節行事を取り入れながら年間を通してサービス提供を行いました。また、関係機関と連携を図りながら、多くの課題を抱えた利用者を受入れるなど、地域のセーフティネットとしての役割も果たしました。令和元年度の利用延べ人数は8,561人で、目標値より779人の不足となりました。職員体制が厳しい中、総合事業通所型サービス（市基準）の開催日増を前倒しでオープンしましたが、通所介護と認知症対応型通所介護において入浴サービスを併せた利用希望が多く、入浴定員がいっぱいで受入が出来ないため、新規獲得に繋げることができませんでした。その結果、利用者増を実現できず、目標を下回りました。

総合事業通所型市基準サービス（市基準）については、8月より月曜日も開催し、週3回の開催となりました。今年度は調査研究開発事業と協働し、市基準の利用者を対象としたフレイル予防の調査を行いました。引き続き、市と連携して積極的な事業展開を進めて参ります。

通所介護では個別機能訓練加算Ⅰの取得から2年経過し、利用者の身体の状態に合わせた運動プログラムの作成、及び機能評価が行える体制を維持し、継続した身体機能の維持・改善や向上を図ることが出来ました。引き続き、個別機能訓練加算Ⅰの加算取得に努めて参ります。

認知症対応型通所介護では、今年度より認知症の行動・心理症状（BPSD）の改善が期待される「日本版BPSDケアプログラム」を導入し、アドミニストレーター養成研修を受講した職員と介護職が協力し、より良い利用者のケアに繋がるよう現場での実践に取り組みました。引き続きケアプログラムを活用しながら事業を展開して参ります。

区 分		令和元年度	平成30年度
通所介護	延べ人数	4,378人	4,755人
	1日平均	14.1人	15.4人
総合事業（国基準）	延べ人数	1,072人	1,415人
	1日平均	3.46人	4.6人
総合事業（市基準）	延べ人数	1,287人	746人
	1日平均	9.12人	12.4人
認知症対応型通所介護	延べ人数	1,824人	1,981人
	1日平均	5.90人	6.4人

(a) 運営推進会議

情報の公開及び地域との連携・交流を確保し、サービスの質の確保・向上を図るため、利用者の家族や地域住民の代表者、サービスに知見を有する方に委員として参加していただき、今年度は2回開催しました。

開催日
令和元年9月16日(月)
令和2年2月17日(月)

(b) 家族会

介護者の支援として家族会を開催しました。介護から離れ、家族介護者同士が集い、職員を交えて介護の実践方法や成功体験談など、当事者ならではの具体的な意見交換をすることで、新たな視点や発見の機会を提供することができました。令和元年度は9月と3月に開催予定でしたが3月は新型コロナウイルス拡散防止のため中止としました。9月の開催では4人の参加がありました。

開催日	参加者数
令和元年9月16日(月)	4人
3月	感染予防のため中止

(c) 地域福祉交流育成

令和元年度は、個人・団体ともに、ボランティアの受入数が減少しました。個人ボランティアにおいては高齢化による体調不良、団体ボランティアについては、個別機能訓練を実施するため、来訪回数を調整したことが要因となっています。今後もチラシや口コミによる募集を継続していきます。

職場体験は、2名の中学生が福祉現場を体験したことで福祉を知ってもらい、考えてもらうきっかけ作りとなりました。今後も職場体験の中学生を積極的に受入、福祉意識の醸成へ繋がるよう、地域へ発信して参ります。

区 分		令和元年度	平成30年度
ボランティア受入れ	個人	延べ433人	延べ498人
	団体(人数)	43団体(250人)	31団体(285人)
ボランティア交流会	実施回数	0回	0回
	参加者数	延べ0人	延べ0人
職場体験受入れ	受入者数	2人	0人
	期間	5日間	0日間

イ 調布市地域包括支援センターゆうあい事業

		目標値 令和元年度	実績
第2次中期 計画 目標・成果 指標	介護予防関連事業 参加者数(出張説明 会, 介護教室)	140人	<p>延べ参加者 200人</p> <ul style="list-style-type: none"> ●介護教室 (2日間) ・9月19日(木) 「高齢期の過ごし方～生活に取り入れたい運動習慣と社会参加～」参加者30名 ・9月26日(木) 「高齢期の過ごし方～高齢期の身体特徴と生活習慣からの疾病～」参加者37名 ●出張説明会 ・6月23日(日) NPO法人調布SHC倶楽部 「肺炎を予防するために！～誤嚥性肺炎って知っていますか？～」参加者16名 ・8月21日(水) 国領児童館 「認知症サポーター養成講座～児童向け～」参加者19名 ・8月22日(木) 菊野台サロン 「10の筋力トレーニング体験会」参加者13名 ・10月16日(水) くすのき1号棟集会場 「10の筋力トレーニング体験会」参加者26名 ・11月13日(水) くすのき1号棟集会場2回目 「10の筋力トレーニング体験会」参加者11名

			<ul style="list-style-type: none"> ・1月7日(火) サロンドわきあいあい 「10の筋力トレーニング体験会」参加者10名 ・1月29日(水) くすのき1号棟集会場3回目 「10の筋力トレーニング」参加者10名 ・2月25日(火) くすのき1号棟集会場4回目 「10の筋力トレーニング」参加者7名 ・3月11日(水) くすのき1号棟集会場5回目 「10の筋力トレーニング」参加者名6名 ・2月14日(金) NPO法人調布SHC倶楽部 「身体を使った認知症予防」～アタマもカラダも元気でいよう！～参加者15名
	<p>地域ケア会議参加者延べ人数</p>	<p>90人</p>	<p>延べ参加者68人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 6月28日(金) 「認知症になっても安心して暮らせるまち～迷い人の事例を通じて～」参加者26名 ・第2回 11月22日(金) 「家で看取るために必要なこと～看取り事例より役割を理解する～」参加者28名 ・第3回 2月26日(水) 「地域でできる防災・減災について～わたしの準備,わたしたちの準備～」参加者14名

	みまもっとPR 活動件数	300件	235件
評価等	<p>設定した目標値は、概ね達成ができました。出張説明会は、健康寿命の延伸や健康増進のための環境づくりを目的としてテーマ設定し、開催いたしました。台風19号における水害に対する考え方を地域の方と共に考える第3回地域ケア会議においては、新型コロナウイルスの影響もあり、消極的な参加となりました。防災・減災の視点で、今後も地域課題として、継続した取組テーマとして実施する必要があります。みまもっとPR活動については、行事の中止などで目的数値に対しては未達成ですが、効果的、効率的なネットワークづくりをテーマに、月毎に業種を決め、PRに行く等の工夫をいたしました。</p>		

調布市内の高齢者人口の最多地区を担当し、地域のセーフティネット、また、地域包括ケアを支える拠点として、高齢者や障害を持つ方々が地域で安心して暮らせるように、数多くの相談を受けるとともに、医療や介護などの関係機関と密な連携を図りました。併せて、地域の団体や自治会等へ認知症や介護予防、とりわけ10の筋力トレーニングの体験会を複数回開催するなど、普及啓発に努めました。また、専門職向け勉強会を事例検討会の場で実施しました。

自治会・地域団体・介護保険事業所・医療機関等が集まる地域ケア会議では、テーマにあわせ、参加者に呼びかけを行い地域課題について有意義な意見交換ができました。

(a) 総合相談事業

区 分	令和元年度	平成30年度
相談件数	7,411件	7,634件
実態把握人数	1,176人	1,359人

(b) 地域ネットワーク

区 分	実施日・回数等	参加者数
地域ケア会議	「認知症になっても安心して暮らせるまち～迷い人の事例を通じて～」 令和元年6月28日(金)	26人
	「家で看取るために必要なこと～看取り事例より役割を理解する～」 令和元年11月22日(金)	28人
	「地域でできる防災・減災について～わたしの準備、わたしたちの準備～」 令和2年2月26日(水)	14人

広報協力員 研修，連絡 調整会	施設見学「希望」 (看護小規模多機能型 居宅介護)	令和元年8月29日(木)	7人
広報協力員 PR訪問	市の世帯状況調査で訪 問を希望した高齢者に 広報協力員が訪問し，市 の施策や事業等の紹介	新規訪問 1回	23世帯 29人
		継続訪問 1回	8世帯 12人
民生児童委 員と広報協 力員の連絡 会	第2地区	令和元年6月11日(火)	11人
	第4地区	令和元年6月24日(月)	7人
認知症サポ ーター養成 講座の開催	調布市高齢者家事援助 ヘルパー養成研修受講 生	令和元年7月9日(火)	10人
	国領児童館	令和元年8月21日(水)	19人
	一般市民(市主催)	令和元年11月9日(土)	14人
	調布市司法書士会 (リーガルサポート調 布支部)	令和元年11月13日(水)	14人
	シルバー人材センター	令和2年1月31日(金)	23人
	調布市サービス公社	① 令和2年3月16日(月) ② 令和2年3月17日(火)	① 11人 ② 7人
認知症総合 支援事業	調布市高齢者応援大会にて，認知症地域支援推進員が認知症カフェについてPRしました。認知症地域支援推進員がみまもっと担当と共に地域に向けて，認知症理解を促進するチラシを配布する等のPRを実施しました。総合相談の中でも認知症の相談は家族や近い人からの相談が増えています。地域への認知症対応の普及啓発(認知症サポーター養成講座)に努めました。		
在宅医療・ 介護連携推 進事業	医療連携の推進については，ICTの活用推進，医療機関の特徴等についての適切な把握，相談窓口の活用について推進しました。ちようふ医療相談室と連絡会を開催し，圏域における医療連携の実情を共有しました。		

(c) 介護支援

区 分		実施日・回数等	参加者数
介護教室	「高齢期の過ごし方～生活に取り入れたい運動習慣と社会参加～」	令和元年9月19日(木)	30人
	「高齢期の過ごし方～高齢期の身体特徴と生活習慣からの疾病～」	令和元年9月26日(木)	37人
家族介護者の支援		男性介護者にだれでもカフェ紹介, ケアラーマップの配付等を通じて家族の方への支援を実施	

(d) 権利擁護

区 分	令和元年	平成30年度
虐待予防相談	123件	119件
成年後見制度の活用推進, 消費者被害の防止等の相談	82件	147件

(e) ケアマネジメント支援

区 分	内 容		
ケアマネジャー支援	適正なケアプラン作成のための支援：104件		
地域連絡会ケアマネットの開催	「多職種連携に必要なこと～専門職の領域理解を深めて～」	令和元年6月21日(金)	26人
	「“AIを活用したケアプランニング”について考える」	令和2年1月14日(火)	33人
	事例検討会(勉強会)	① 平成31年4月24日(水) ② 令和元年7月24日(水) ③ 令和元年8月28日(水) ④ 令和元年9月25日(水) ⑤ 令和元年11月27日(水) 第4水曜日定例開催	① 5人 ② 6人 ③ 11人 ④ 7人 ⑤ 10人

(f) 介護予防マネジメント

高齢者等が現況の身体状況を維持し、安心して在宅生活の継続ができるように、自立支援を目指した介護予防支援及び介護予防マネジメントによる支援を行いました。

区 分	令和元年度	平成30年度
介護予防ケアプラン作成件数	2,091件	1,960件
介護予防ケアプラン委託件数	1,033件	1,209件

(g) 見守りネットワーク事業

地域での事業協力者を拡大するため、地域団体への説明会や、地域住民への広報活動を行いました。また、公社のホームページや広報紙「ゆうあい」・「みまもっと便り」を活用し、地域住民への周知を図りました。

区 分	令和元年度	平成30年度
通報件数	65件	76件
P R 件数	235件	336件

(h) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

区分	内容
包括的・継続的ケアマネジメント支援	高齢の方々が住み慣れた地域で自立して生活するために必要な援助、支援を行うために関係機関との連絡調整を実施しました。広報協力員と民生委員との連絡会、地区協議会への参加等で地域ケア会議や関係者会議等へ地域の介護事業所等へ参加の促しを行いました。

(i) 一般施策判定業務

区 分	令和元年度	平成30年度
判定数	311件	271件

(j) 出張説明会

区 分	実施日・回数等	参加者数
NPO法人調布SHC倶楽部「肺炎を予防するために！～誤嚥性肺炎って知っていますか？～」	令和元年6月23日(日)	16人
国領児童館「認知症サポーター養成講座～児童向け～」	令和元年8月21日(水)	19人

菊野台サロン 「10の筋力トレーニング体験会」	令和元年8月22日(木)	13人
くすのき1号棟集会場 「10の筋力トレーニング体験会」	令和元年10月16日(水)	26人
くすのき1号棟集会場2回目 「10の筋力トレーニング体験会」	令和元年11月13日(水)	11人
サロンドわきあいあい 「10の筋力トレーニング体験会」	令和2年1月7日(火)	10人
くすのき1号棟集会場3回目 「10の筋力トレーニング」	令和2年1月29日(水)	10人
「身体を使った認知症予防」 ～アタマもカラダも元気でいよう！～	令和2年2月14日(金)	15人
くすのき1号棟集会場4回目 「10の筋力トレーニング」	令和2年2月25日(火)	7人
くすのき1号棟集会場5回目 「10の筋力トレーニング」	令和2年3月11日(水)	6人

(k) 介護保険要介護認定調査

区 分	令和元年度	平成30年度
認定調査件数	17件	32件

ウ 軽度生活援助事業

第2次中期 計画 目標・成果 指標	目標値 令和元年度	実績
	延べ利用時間数	206 時間
延べ利用者数	36 人	28 人
評価	介護保険制度だけでは対応できないケースに対する支援体制の構築維持は必要のため継続していきます。	

介護保険サービスにおける支給限度額内のサービスだけでは支援体制を構築できないケースや、本人の認知機能症状で介護保険サービスの受入ができないケースに介入し継続的な支援を実施しました。令和元年度は延べ利用者は目標に届かないものの、サービス提供延べ時間数は若干の増加となりました。

区 分		利用者延べ数	サービス提供延べ時間数	サービス提供延べ回数
見守り事業	令和元年度	28人	229時間	189回
	平成30年度	28人	207時間	154回

(4) 介護保険事業（自主事業）による自立支援の推進

ア 訪問介護事業，障害者訪問介護事業

第2次中期計画 目標・成果指標	目標値 令和元年度	実績
	延べ利用時間数	1万6,000時間
介護職カフェ（介護技術勉強会） 開催回数（再掲）	4回以上	4回
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 延べ利用時間数 退職者の補充ができず，目標値には至らない状況となりました。今後，新たな雇用形態の創出を行い，職員の確保を積極的に行って参ります。	

(a) 訪問介護事業

安定した事業運営を目指し，月次での収支状況の確認を行い，法人内で情報共有するとともに，日常業務の見直しを行い，効率化を図りました。また，調布市の高齢者家事援助ヘルパー養成研修，介護職員初任者研修，重度訪問介護員研修講師派遣等や介護職カフェ開催を通して，福祉人材の育成と地域への還元の一助を担いました。

区分	利 用 者 数（上：延べ人数，下：%）								訪問時間数 訪問回数
	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計	
令和元年度	114	248	202	212	89	92	128	1,085	9,938時間
	10.5	22.9	18.6	19.5	8.2	8.5	11.8	100.0	12,906回
平成30年度	186	269	201	191	95	114	113	1,169	10,417時間
	15.9	23.0	17.2	16.3	8.1	9.8	9.7	100.0	13,207回

(b) 障害者訪問介護事業

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づき，居宅介護・重度訪問介護の対象者が，地域で安心して自立した在宅生活を継続できるように，サービス提供に努めました。

区 分	利用者数	サービス提供時間数	サービス提供回数
令和元年度	331人	3,132時間	2,315回
平成30年度	328人	3,250時間	2,399回

(c) 定期研修

区 分	回数	参加者数
定期研修	年13回	延べ187人

(d) 介護職カフェ（介護技術勉強会）

区 分	実施日	参加者数
介護職カフェ（介護技術勉強会）（再掲）	令和元年7月18日（木）	14人（参加4事業所）
	令和元年9月19日（木）	14人（参加5事業所）
	令和元年11月21日（木）	13人（参加4事業所）
	令和2年2月20日（木）	7人（参加5事業所）

イ 居宅介護支援事業，介護保険要介護認定調査事業

第2次中期 計画 目標・成 果指標		目標値 令和元年度	実績
		ケアプラン作成数	1,490 件
	福祉専門職スキル アップ研修（再掲）	2 回以上	3 回
評価等	○ケアプラン作成数 年度当初にシステム変更を行い，業務手順の再構築を行うため，一時新規利用者の受入を中止したこと，また，年度途中で職員の休業もあり，目標数値を達成できませんでした。		

(a) 居宅介護支援事業

利用者が，住み慣れた地域でその方の望む生活を実現し，可能な限り継続ができるように，適切なアセスメントと課題分析を行うとともに，公的制度や地域の社会資源を活用したケアマネジメントを行いました。収支差額は計画予算上よりも小さくなり経営努力の一定の成果が出せました。

(上：延べ利用者数，下：%)

年度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
令和元年度	35	30	496	437	241	133	92	1,464
	2.4	2.0	33.9	29.8	16.5	9.1	6.3	100.0
平成30年度	9	31	472	333	211	132	80	1,268
	0.7	2.5	37.2	26.3	16.6	10.4	6.3	100.0

(b) 介護保険要介護認定調査事業

調布市の介護保険制度運営のため、介護保険法に基づく要介護認定調査を行いました。

区 分	令和元年度	平成30年度
認定調査件数	29件	31件

(c) 福祉専門職スキルアップ研修

区 分	実施日・回数等	参加者数
① 介護技術勉強会	令和元年 5 月 16(木)	29人 (13事業所)
② ケアマネカフェ	令和元年 10 月 24(木)	16人 (11事業所)
③ ちょうふ高齢者応援大会	令和 2 年 1 月 12(日)	234人(主催者発表)

ウ デイサービスぷちぼあん事業

		目標値 令和元年度	実績
第 2 次中 期計画 目標・成 果指標	延べ利用者数	2,670 人 (稼働率 86.5%)	2,162 人 (稼働率 70.1%)
	地域開放支援事業	23 回	16 回
	家族会開催回数	2 回	2 回
評価等	延べ利用者数（稼働率）は目標値に対して 80%の到達となり、達成することが困難な状況でした。職員補充が出来ず、国領からの看護師バックアップを受けましたが、廃止者 6 名に対し、新規利用者が 8 名ですが、複数の曜日に通所介護を利用されていた方々の廃止が要因として大きく出ました。 地域開放支援事業については、新規利用施設はなかったですが、今後も地域への発信を継続し、開かれた施設運営を目指して参ります。		

通所介護事業では、利用者が少しでも長く住み慣れた地域で安心して生活が続けられるように、きめ細かな個別ケアを実践するとともに、季節ごとに行事を取り入れるなど年間を通して、転倒予防体操やウォーキング、また、家事作業等の活動や趣味・交流の活動を中心としたサービス提供を行いました。今年度からは認知症の周辺症状（BPSD）への評価や計画という新しいアプローチ（DEMBASE）も試みながらサービス提供を行いました。

令和元年度の事業実施日数は 257 日で、利用延べ人数は 2,162 人、利用率は約 70% となりました。1 日当たりの平均利用人数は約 8 人で、収支においては目標と大きく乖離しました。次年度へ向けて改善点について引き続き検証し、安定化に向けた取組みを行って参ります。また、家族介護者の支援を目的とした家族会を年 2 回開催しました。今年度はアンケートを実施し、多くの家族から家族会へのご意見や要望など承ることが出来ました。次年度も職員を交え、様々な意見や情報の交換をすることで、負担軽減の一助を担います。

(a) デイサービスぷちぽあん事業

区 分		令和元年度	平成30年度
認知症対応型通所介護	延べ人数	2,162人	2,657人
	1日平均	8.4人	10.3人
介護予防認知症対応型通所介護	延べ人数	0人	0人
	1日平均	0人	0人

(b) 運営推進会議

情報の公開及び地域との連携・交流を確保し、サービスの質の確保・向上を図るため、利用者の家族や地域住民の代表者、サービスに知見を有する方に委員として参加頂きました。(年2回開催)

開催日
令和元年5月28日(火)
令和元年12月6日(金)

(c) ぷちぽあん事業運営協議会

地域住民が協議会に参加し、ぷちぽあんの事業運営のサポートを担ってもらっています。今年度はぷちぽあん祭りがなく、年2回開催している運営推進会議の第1回に参集して頂き、ご意見やご要望、情報共有や協議を行いました。次年度はぷちぽあん祭り開催年ですので、今後の協議会についての検討も併せて実施して参ります。

開催日
令和元年5月28日(火)

(d) 家族会

ご家族向けのアンケートを行い、家族会へのご意見やご要望等を伺いました。ご家族の高齢化や、事業所の立地場所もあり、実際に家族会として参加出来る人は限られており、普段の交流や支援のなかでご家族の情報共有など工夫をしながら進めて参ります。

開催日	参加者数
令和元年6月26日(水)	2人
令和元年10月25日(金)	2人

(e) 地域開放支援事業

地域開放支援事業では、ひだまりサロンや自治会への施設貸出を実施しました。

区 分		令和元年度	平成30年度
ボランティア受入れ	活動者数	延べ324人	延べ374人
ひだまりサロン実施支援	実施回数	9回	11回
	参加者数	延べ92人	延べ107人
地域交流会支援	実施回数	0回	0回
	参加者数	0人	0人
施設貸出	貸出回数	7回	6回
	参加者数	延べ46人	延べ37人
施設開放	貸出回数	16回	17回
	参加者数	延べ138人	延べ144人

(5) 公益法人として先駆的な役割を果たすための事業の推進

ア 普及啓発事業

		目標値 令和元年度	実績
第2次中期計画 目標・成果指標	福祉講演会の参加者率	会場定員 90%以上	会場定員 31.5% (63人/200人)
	協力会員・登録ボランティア説明会 延べ参加者数	60人	37人
	出張説明会	12回	14回
評価等	<p>○福祉講演会 福祉講演会は目標達成できませんでした。</p> <p>○協力会員・登録ボランティア説明会延べ参加人数 14回各地域に出張等し、開催しましたが、延べ参加者数は達成できませんでした。</p> <p>○出張説明会 民生児童委員協議会の定例会やひだまりサロン等に出張し、達成できました。</p>		

協力会員や登録ボランティアの拡大をするため、市内の地域福祉センター、公民館、福祉施設等、地域に積極的に出張し協力会員募集説明会を開催し、普及啓発に努めました。また、広報紙「ゆうあい」で協力会員募集を特集した広報紙の作成、市内に全戸配布し担い手の募集、発掘に努めました。また、民生児童委員協議会、ひだまりサロン、老人クラブ、自治会等に出張し住民参加型サービスを説明し活用促進に関わる普及啓発に努めました。

地域住民の助け合いによる地域づくりを推進するため、住民同士の仲間づくりの場の提供や地域活動への参加と支援、また、情報提供など、様々な手法で普及啓発に取り組みました。

事業名		実施回数	参加者数	備考
福祉講演会	市民相互の支え合いとあたたかい地域づくりを目指し、地域福祉・ボランティア活動の啓発	年1回	63人	講演会テーマ「これからの地域共生社会とは～誰もが住みやすいと思える調布を目指して～」 令和2年1月26日(日)
広報	機関紙「ゆうあいほっとらいん」	年6回	—	2,500部/回
	広報紙「ゆうあい」	年2回	—	12万5,000部/回 (内12万3,000部を市内全域にポスティング, 2,000部を関係機関に配架等)
	ホームページ	随時更新	—	イベント情報を随時更新
出張説明会		年14回	299人	民生児童委員協議会, ひだまりサロン, 老人クラブ, 自治会等
協力会員・登録ボランティア説明会		年22回	延べ41人	「ちょこっとさん」登録ボランティア説明会と共催
生きがい介護予防講座	男性のための料理講座	年1回	延べ35人	5日コース
	フォークダンス講座	年1回	延べ27人	4日コース
介護予防社会参加事業	「だいこんの会」	月1回	—	生きがい介護予防講座 修了者の自主グループ
	ゆうあいフォークダンス友の会「フレンズ」「すみれ」	各月3回	—	
調布市食事サービス連絡会	市内配食事業者との連絡会において、情報・課題の共有、課題解決への検討	年1回	4事業者 90人	令和2年1月12日(日) ちょうふ高齢者応援大会試食会

家族介護者支援事業（再掲）	だれでもカフェ（認知症カフェ）	月1回 （年11回）	参加者 延べ235人	○だれでもカフェこくりょう（毎月第4日曜日） ※10の筋力トレーニング、ハンドベル、ハンドマッサージ、男性介護者のつどい等 ○だれでもカフェふちぼあん（不定期：令和2年2月16日） ※家族介護者向け介護技術講座開催
	調布市認知症高齢者等を介護するケアラー支援マップの改訂 ※広報に再掲	年1回	発行12万5,000部（内12万3,000部を市内全域にポスティング、2,000部を関係機関に配架等）	令和元年8月1日広報紙ゆうあい18号にて第8版を掲載。ケアラーの集い場15件（新規1件）、相談窓口、地域密着型サービス、研修会等の情報を掲載
	家族介護者向け介護技術講座	年2回	9人	「知って安心、自宅での介護のコツ」 ①だれでもカフェこくりょう開催時実施 令和元年7月28日（日） 参加者4人 ②だれでもカフェふちぼあん開催時実施 令和2年2月16日（日） 参加者5人
認知症サポーター養成講座（再掲）	認知症サポーター養成講座	37回	1,159人	地域で開催される認知症サポーター養成講座の実施、キャラバンメイトの調整・派遣
	認知症サポーターフォローアップ研修	1回	26人	認知症当事者の世界を知るための講義、グループワーク形式の研修
	認知症サポーターの活躍の場リスト	1回	—	認知症サポーター活躍の場の情報を更新・発行し市内全戸配付

イ 人材育成事業

		目標値 令和元年度	実績
第2次中期計画 目標・成果指標	協力会員研修延べ参加人数（市民公開講座に参加した市民を含む）	250人	147人
	ゆうあい福祉セミナーの参加人数	20人	-
	介護職カフェ（介護技術勉強会）、及び福祉専門職スキルアップ研修の延べ参加人数（再掲）	90人	327人
評価等	<p>○協力会員研修延べ参加人数（市民公開講座に参加した市民を含む） 協力会員研修のうち定例会の参加人数が減少傾向にありました。</p> <p>○ゆうあい福祉セミナーの参加人数 2月に開催を予定していましたが、新型コロナウイルス拡散防止の観点から、開催を中止致しました。</p>		

公社の理念である「市民相互の助け合い」と「自立支援のための質の高いサービスの提供を通じてあたたかい地域づくり」を推進するために、介護の担い手や協力会員及びボランティアの育成、並びに専門資格の取得を目指す実習生の受入れや各種講座・研修等の開催など、様々な「学びの場」を提供し、介護や地域福祉の担い手となる人材育成に努めました。

本事業において、住民参加型在宅福祉サービス事業と地域包括支援センターの事業を併せ持つ公社は、介護保険事業について総合的に学べる法人として、医療、福祉及び教育など裾野の広い分野における育成・実習機関となっています。また、地域においては、各種の講習会・勉強会等に、公社の職員を講師として派遣するなど福祉サービス向上に貢献しています。

事業名及び内容		実施日又は回数	参加者数
ゆうあい福祉セミナー	親子で作る！「飾り巻き寿司」～楽しく始めよう親子で食育～ 新型コロナウイルス感染症拡散防止のため中止	令和2年2月22日（土）	—
実習生の受入れ	大学，専門学校等から社会福祉援助技術や教員免許取得等の実習	80日（延べ日数）	4人
福祉専門職講師派遣	地域の福祉人材育成を支援するため公社職員を派遣	23回	—

協力会員研修・登録ボランティア研修	定例会	協力会員の交流を深めるとともに地域づくりの一員としての役割を学ぶ		年4回	延べ51人
	基礎研修	協力会員登録時に活動のための基礎を学ぶ		年15回	延べ18人
	食事サービス	新人研修	調理実地研修	8日コース	2人
			配達実地研修	4日コース	3人
		スキルアップ研修	食品衛生講習	1回	27人
			調理実習	1回	24人
			安全運転講習	1回	21人
	ホームヘルプサービス	スキルアップ研修	車いすの介助方法の講習	1回	1人
介護予防サロン	高齢者でも参加できる社会参加の機会提供, 介護予防・地域づくりに向けた支援	グリーンクラブ	月2回	61人	
		ゆうあいネット倶楽部	週1回	延べ136人	
		おなかまクラブ	月1回	延べ67人	
認知症サポーター養成講座事業（再掲）	認知症サポーター養成講座		37回	1,159人	
	認知症サポーターフォローアップ研修		1回	26人	
	認知症サポーターの活躍の場リスト		1回	更新・発行	
介護職カフェ（介護技術勉強会）（再掲）	令和元年7月18日（木）			14人 （参加4事業所）	
	令和元年9月19日（木）			14人 （参加5事業所）	

	令和元年11月21日(木)		13人 (参加4事業所)
	令和2年2月20日(木)		7人 (参加5事業所)
福祉専門職スキルアップ研修(再掲)	介護技術勉強会	令和元年5月16日(木)	29人 (参加13事業所)
	ケアマネカフェ	令和元年10月24日(木)	16人 (参加11事業所)
	ちょうふ高齢者応援大会	令和2年1月12日(日)	234人 (主催者発表)

ウ 調査研究開発事業

		目標値 令和元年度	実績
第2次中期計画 目標・成果指標	調査実施数(内部調査, 実証研究調査, 新規・改善事業調査)	2回	2回 (フレイル予防のプレ調査・職員対象に事業提案募集)
	実践活動報告数	6回	1回 (ちょうふ高齢者応援大会) ※公社で実施しているフレイル予防の取組と, 体力測定の結果をホームページで公開
評価等	実践活動報告数は目標値に達しませんでした。		

フレイル予防調査については, 公社で総合事業通所型市基準サービス(市基準)を開始してから一定のデータの蓄積ができたので, 外部のデータ分析機関を活用し, その集計結果等を発表することができました。これについては, ホームページでも公開しました。

令和元年度は, 総合事業通所型市基準サービス(市基準)を拡充したので, データの蓄積がさらに充実すると推察しています。令和2年度もこれを活用し, 工夫した分析での公表を検討して参ります。

令和元年度は, フレイル予防調査の検証・発表に注力したことから, その他の実践活動報告はありませんでした。

取組	内 容
実践活動報告	○ 公社事業の実践活動を他団体等へ報告 地域連携会「ちょうふ高齢者応援大会」で「健康寿命を延ばそう！！～フレイル（虚弱）予防の取り組みについて」と題し、調査結果を発表(令和2年1月12日) ※本調査結果については、令和2年2月からホームページで公表
関係協議会等への参加	公社事業の実践活動を生かし、調布市内・外の医療・福祉・介護に関する32協議会等に参画しました。

(6) 健全な公社運営

ア 法人運営及び組織体制の強化・充実

令和元年4月から働き方改革関連法が施行されたことに伴い、年次有給休暇の取得義務化、時間外労働の上限規制への対応を進めました。また、同一労働同一賃金（均衡均等待遇の実現）への対応として、「職務分析・職務評価コンサルティング」を活用し、職務（役割）評価を実施し、専門家の指導の下、課題分析を行いました。

地域包括支援センター事業では、令和2年度から、プロポーザル方式による委託になったことから、公社でも調布市地域包括支援センター運營業務委託事業者候補選定プロポーザルに参加し、審査の結果、令和2年9月に委託候補事業者として選定されました。

このほか、令和2年6月に予定している法人総務と地域包括支援センターの事務所移転に向けて、準備を進めました。

		目標値 令和元年度	実績
第2次中期 計画 目標・成果 指標	労働安全衛生に関する研修実施	2回	①8月4日(日)「救急救命講習会」実施、参加者15人 ②10月3日(木)「骨密度測定(ココカラファイン薬局)」実施 参加者54名
	年次有給休暇の取得促進	55%	78.3% ○付与(時間・日数)に対して50%以上消化できた職員の割合 ・正規職員 14/25人 56%(平成31年1月付与から1年間) ・非常勤職員 69/81人 85.2%(平成31年4月付与から1年間)

	全職員の所定外労働時間（年間）	1万3,000時間 （10%削減）	5,447時間 次世代育成支援対策推進行動計画に基づき、ノー残業デー等の取組を推進しました。
	主任ケアマネジャーの人数	3人	1人 8月に主任ケアマネジャー推薦申請を行ったが、推薦要件を満たすことができませんでした。
	全職員の外部研修参加割合	45% （10%向上）	52.7% （59人参加/全職員112人中）
評価等	衛生委員会の取組や各種研修の実施により、時間外労働の削減や休暇取得の促進につなげることができました。主任ケアマネジャーについては、職員の退職により1名となり、職員の育成が課題です。このほか、目標値を達成し事業推進が図れました。		

区 分	内 容
会員・ボランティア基盤の拡充	広報のあり方について検討し、令和2年度から、広報事務を管理係所管にて行う予定です。
PDC Aマネジメントサイクル構築	事業進捗状況確認シート・月次損益推移表等を作成し、経過や状況等の把握に努めたほか、適宜理事会等に報告を行いました。
制度改正などへの対応・検討	研修・会議等への参加を通して、情報収集を行い、必要な対応について協議・検討しました。
労務管理体制の強化	衛生委員会等を通しての研修会の実施、次世代育成支援対策推進行動計画の推進に努めました。
専門資格の取得の促進	自身の業務やキャリア形成に生かすことができる資格取得・外部研修等の活用を促しました。
将来を担える職員の育成	プロパー職員を対象に、コンプライアンス研修を実施しました。セルフ・キャリアドッグを実施し、職員のキャリア形成・資格取得促進に向けて支援しました。
財務会計システムリニューアル	新たな財務会計システムを導入し、経理処理等の業務効率化に努めました。
危機管理（リスクマネジメント）の強化	防災計画（素案）を作成しました。新型コロナウイルス感染症への対応を協議し、拡大防止に向けた対策を実施しました。

イ 自主的，自立的経営に向けた財政基盤の強化

訪問介護事業においては，収入は横ばいで推移しましたが，コスト管理を徹底し，安定した収益確保につなげることができました。居宅介護支援事業は，ケアマネジャーの欠員等により減収となりました。

デイサービスぷちぼあん事業は，新規利用の受入等を進めましたが，稼働状況は横ばい傾向となりました。自主事業の合計では，目標である収支均衡を達成することができました。

このほか，職員が個別に訪問し公社理念・事業の説明を行うなど，賛助会員・寄付の獲得に向けた取組を進めました。

	項目	目標値 令和元年度	実績
第2次中期 計画 目標・成果 指標	自主事業の収支 (3事業合計)	収支均衡(±0)	625万7,993円
	モニタリングシート対策達成率	70%	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護 75% ・居宅介護支援 87.5% ・ぷちぼあん 51.4%
	賛助会員数	210人	235人 (内訳 個人227人，8団体)
評価等	<p>自主事業の収支については，3年連続の収支均衡(黒字)となり，目標を達成しました。モニタリングシート対策達成率については，ぷちぼあんにおいて目標未達となりましたが，これは稼働率の向上，職員体制の整備が不十分であったことが要因で，経営の安定には不可欠なものであり，大きな課題として認識しております。賛助会員数については，前年度と比較し17件増加し，目標を達成しました。</p>		

区分	内容
モニタリングシートの活用	毎月の目標設定，収支確認。目標値とのかい離要因分析に努めました。
寄付金収入の拡充	令和元年12月に広報紙19号を発行し，住民参加型事業をはじめ公社事業のPRに努めました。寄付金については，目標予算額に達しませんでした。
賛助会員の拡充	広報紙ゆうあいを通して，住民参加型事業等への理解の浸透を図り，賛助会員の拡充に努めました。

5 その他の報告事項

(1) 役員等及び会議に関する事項

ア 役員等名簿（令和2年3月31日現在）

(a) 理事・監事

役職名	氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
理事長	花角美智子	理事	西田伸一	理事	中里繁夫
副理事長	山口征子	理事	橋本郁子	監事	老川多加子
常務理事	涌田宏幸	理事	泰山涼子	監事	加瀬亜里

(b) 評議員

氏名	氏名	氏名	氏名
小川時雄	小西健博	新川太計子	柴崎弓子
佐々木伸彦	古屋紀子	中島弘子	山本雅章

イ 会議の開催

(a) 理事会

開催年月日	件名	結果
平成31年4月25日 (第1回定時)	<ul style="list-style-type: none"> ・調布市国領高齢者在宅サービスセンター（通所介護及び調布市介護予防・日常生活支援総合事業（通所型サービス））運営規程の改正について ・居宅介護支援事業（介護予防支援事業及び調布市介護予防・日常生活支援総合事業における介護予防ケアマネジメント事業）運営規程の改正について ・平成30年度収支補正予算書第1号について ・平成30年度事業報告（案）について ・平成30年度収支決算（案）について ・平成31年度定時評議員会の招集について ・理事長及び常務理事の職務の執行状況について ・総括（3ヶ年）経営再建計画～介護保険事業（自主事業）～について 	承認 承認 承認 可決 可決 可決 報告 報告
令和元年9月12日 (第2回定時)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度収支補正予算書第1号について ・嘱託職員等就業規則の改正（案）について ・ホームヘルパー就業規則の改正（案）について ・家事援助ヘルパー就業規則の改正（案）について ・嘱託職員等就業規則の改正（案）について ・ホームヘルパー就業規則の改正（案）について 	承認 可決 可決 可決 可決 可決

	<ul style="list-style-type: none"> ・家事援助ヘルパー就業規則の改正（案）について ・令和元年度第1回臨時評議員会の招集について ・職員就業規則の改正（案）について ・理事長及び常務理事の職務の執行状況について ・調布市地域包括支援センター運営委託事業者候補選定プロポーザルについて ・人事評価制度の導入について 	<p>可決 可決 可決 報告 報告 報告</p>
<p>令和2年1月23日 (第3回定時)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の再雇用に関する規程の改正（案）について ・令和元年度第2回臨時評議員会の招集について ・運営状況の報告について（法人運営・事業運営，執行状況及び財務状況，自主事業の決算見込） ・令和元年度上半期苦情解決の状況について ・令和2年度事業計画（素案） ・令和2年度収支予算（素案） 	<p>可決 可決 報告 報告 協議 協議</p>
<p>令和2年3月12日 (第4回定時)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員就業規則の改正（案）について ・嘱託職員等就業規則の改正（案）について ・ホームヘルパー就業規則の改正（案）について ・家事援助ヘルパー就業規則の改正（案）について ・介護職員処遇改善加算に関する取扱い規程の改正（案）について ・処務規程の改正（案）について ・印章規程の改正（案）について ・施設管理規程の改正（案）について ・令和2年度事業計画（案）について ・令和2年度収支予算（案）について ・令和元年度第2回臨時評議員会の招集を中止することについて ・令和元年度決算見込（自主事業）について 	<p>可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 報告</p>
<p>令和2年3月27日 (第1回臨時・書面)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・理事候補者の選任について ・第2回臨時評議員会（決議の省略）の開催について 	<p>可決 可決</p>

※「承認」は専決処分に係る案件

(b) 評議員会

開催年月日	件名	結果
<p>令和元年5月10日 (定時)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度事業報告について ・平成30年度収支決算について 	<p>可決 可決</p>

令和元年9月25日 (第1回臨時)	<ul style="list-style-type: none"> ・理事長及び常務理事の職務の執行状況について ・調布市地域包括支援センター運営委託事業者候補選定プロポーザルについて ・人事評価制度の導入について 	報告 報告 報告
令和2年3月31日 (第2回臨時・書面)	<ul style="list-style-type: none"> ・理事の選任について 	可決

(2) 公社外部委員会等一覧表及び実習生受入実績

ア 公社外部委員会等一覧表

1	調布地域精神保健福祉ネットワーク連絡会
2	調布市地域福祉推進会議
3	調布市高齢者福祉推進協議会
4	「調布市見守りネットワーク事業」関係団体ネットワーク会議Bゾーン
5	調布市認知症連携会議
6	認知症対応型通所介護事業所連絡会
7	調布市養護老人ホーム入所判定委員会
8	介護支援専門員調布連絡協議会
9	調布市介護保険認定審査会(委員)
10	調布市障害支援区分判定審査会
11	調布市障害者地域自立支援協議会
12	調布市健康危機管理対策本部連絡会
13	調布市社会福祉協議会(評議員)
14	調布市高次脳機能障害者支援機関連絡会
15	調布市福祉人材育成センター運営委員会(委員)
16	介護保険サービス事業者調布連絡協議会(役員)
17	介護保険サービス事業者調布連絡協議会(委員)
18	社会福祉法人くすのき会(評議員)
19	調布市高齢者救急業務連絡協議会(役員)
20	調布消防署住宅防火等推進協議会(役員)
21	地域密着型サービス運営推進会議(ケアホーム希望)
22	地域密着型サービス運営推進会議(調布八雲苑)
23	地域密着型サービス運営推進会議(至誠若葉)
24	こくりょうみんなの広場(国領小学校地区協議会)運営委員会
25	くすのき商店会
26	調布市食事サービス連絡会
27	東京都社会福祉協議会住民参加型たすけあい活動部会(役員)
28	東京都社会福祉協議会東京都高齢者福祉施設協議会(会員)
29	住民参加型在宅福祉サービス団体全国連絡会
30	調布市地域連携会
31	NPO高齢者を支える学術的チームアプローチ推進ネットワーク理事会
32	ちょうふ在宅医療相談室運営協議会

イ 実習生受入実績

学校名等	実習名	日程	日数	人数
調布市社会福祉協議会	調布市高齢者家事援助ヘルパー養成研修実習	7/16～8/2	1日	5人
	介護職員初任者研修	10/18～11/8	1日	5人
法政大学現代福祉学部	ソーシャルワーク実習	8/5～9/5	24日	1人
日本大学理工学部	介護体験実習	8/5～8/9	5日	2人
東京学芸大学教育学部	ソーシャルワーク実習	8/13～9/13	24日	1人
お茶の水女子大学	介護体験実習	8/19～8/23	5日	1人
調布市福祉総務課	社会福祉援助技術現場実習	8/21～8/23	3日	3人
明星大学	介護体験実習	8/26～11/25	5日	21人
公益社団法人東京都看護協会	「統合演習Ⅱ」実習	9/3	1日	1人
慈恵第三看護専門学校	在宅介護論実習	9/25	1日	2人
杏林大学医学部付属看護専門学校	在宅看護実習Ⅱ	10/15～11/22	1日	4人
大原医療秘書福祉保育専門学校	相談援助実習	10/28～4/30	24日	1人
桜美林大学健康福祉学群	相談援助現場実習	1/28～2/6	8日	1人
東京慈恵会医科大学医学部看護学科	地域連携実習	2/18～2/21	2日	4人
		合計	105日	52人

(3) 職員研修の実績

ア 業務研修

No.	研修日	研修名	主催	会場	研修日数	参加人数	参加日数
1	H31.4.10	HACCP 基礎研修	日本食品衛生協会	食品衛生センター	1	2	1
2	H31.4.16	平成31年度東京都認定調査員新規研修	東京都	東京都社会福祉保険医療研修センター	1	1	1
3	H31.4.17	働き方改革関連法対応 派遣元・派遣先事業主のための「同一労働同一賃金」ポイント解説	東京都労働相談情報センター	東京都八王子労政会館	2	1	2
4	R1.5.9	調布市在宅ケアの輪 定例会	調布市医師会地域包括ケア研究会	調布市医師会館	1	1	1
5	R1.5.10	地域に根差す中間支援組織スタッフのための支援力アップ塾～スタートアップ編～	東京ボランティア・市民活動センター	飯田橋セントラルプラザ	1	1	1
6	R1.5.15	同一労働同一賃金企業が取り組むべきこと	アデコ	アデコ 新宿センタービル	1	1	1
7	R1.5.15	2019年春の食品フェア	増田禎司商店	八王子京王プラザホテル	1	2	1
8	R1.5.17	働き方改革関連法対応 新任担当者向け就業規則点検&整備の基本ポイント解説	東京都労働相談情報センター	東京都八王子労政会館	2	1	2
9	R1.5.22	～働き方改革関連法対応～ パートタイム労働者・有期雇用労働者を巡る雇用管理	東京都労働相談情報センター	ゲートシティ大崎ウエストタワー	2	1	2
10	R1.5.22	事例検討会	居宅支援事業所	ときわぎ国領	1	1	1
11	R1.5.24	労働セミナー「労働法基礎セミナーin国分寺」	東京都労働相談情報センター	東京都国分寺労政会館	2	1	2
12	R1.5.25	一般社団法人 日本認知症ケア学会 第20回大会 認知症という希望	日本認知症ケア学会	国立京都国際会館	2	1	2
13	R1.5.29	健康づくり調理研修会	東京都多摩府中保健所	多摩府中保健所	2	1	2

14	R1.5.30	同一労働同一賃金企業が取り組むべきこと	アデコ	アデコ 新宿センタービル	1	1	1
15	R1.6.5	日々の業務の中にある地域とつながるヒント	東京都高齢者福祉施設協議会	研究社英語センター	1	1	1
16	R1.6.6	360度人事評価と管理	キャノンシステムアンドサポート	キャノンプラザS	1	1	1
17	R1.6.6	新・特定処遇改善加算の全解説と8月提出期限の改善計画書セミナー	C-MA S 東京中央事務所	アルカディア市谷私学会館	1	1	1
18	R1.6.6	平成31年度新任係長職実務研修	調布市	調布市文化会館たづくり	1	1	1
19	R1.6.7	平成31年度新任係長職実務研修	調布市	調布市文化会館たづくり	1	1	1
20	R1.6.10	高齢者虐待の防止について 支援者として知っておきたいこと	調布市地域包括支援センター	調布市文化会館たづくり	1	2	1
21	R1.6.12	労働セミナー【月間事業】女性活躍推進のための法知識とハラスメント対策	東京都労働相談情報センター	東京都八王子労政会館	2	1	2
22	R1.6.13	まちづくりのために今、専門職にできること みま〜もの取組を通して	調布在宅ケアの輪	調布市文化会館たづくり	1	1	1
23	R1.6.19	平成31年度東京都地域包括支援センター職員研修(初任者研修)	東京都福祉保健財団	東京都福祉保健財団	2	1	2
24	R1.6.20	～しなやかな心で働くために～ハラスメントを理解してメンタルヘルスケアから始めよう	東京都労働相談情報センター	ワイム貸会議室 高田馬場	2	1	2
25	R1.6.24	ハラスメントのトラブルへの対処法	東京都労働局	国分寺労政会館	2	1	2
26	R1.7.2	若年性認知症相談支援研修	東京都福祉保健局	東京都社会福祉保険医療研修センター	1	1	1
27	R1.7.6	個別機能訓練の考え方と効果的な機能訓練アプローチ	gene	gene 本社	1	1	1
28	R1.7.9	第4回 栄養管理講習会	東京都多摩府中保健所	多摩府中保健所	1	1	1
29	R1.7.10	一万人の経営者・人事担当者に選ばれた人事評価を学ぶセミナー	あしたのチーム	あしたのチーム本社	1	1	1
30	R1.7.18	介護支援専門員調布市連絡協議会 令和元年度第一回研修会	介護支援専門員調布市連絡協議会	調布市文化会館たづくり	1	3	1
31	R1.7.23	職場のハラスメント(セクハラ・パワハラ等)対策セミナー	職場のハラスメント(セクハラ・パワハラ等)対策セミナー事務局	日本教育会館	1	1	1
32	R1.7.23	福祉職員 初任者研修	調布市社会福祉協議会	調布市こころの健康支援センター	1	5	1
33	R1.7.25	住民参加型たすけあい活動部会 コーディネーター学習会	東京都社会福祉協議会	飯田橋セントラルプラザ	1	1	1
34	R1.7.30	経営協セミナー(前期)	東京都社会福祉協議会 社会福祉法人経営者協議会	あいおいニッセイ同和損保新宿ビル	1	1	1
35	R1.7.31	『障害者雇用宇研修&eラーニング』体験セミナー	パーソル総合研究所	東京ミッドタウン・カンファレンス	1	1	1
36	R1.7.31	令和元年度ケアマネジメントの質向上研修	介護支援専門員研究協議会	ルミエール府中	1	1	1
37	R1.8.1	同一労働同一賃金企業が取り組むべきこと	アデコ	アデコ 新宿センタービル	1	1	1
38	R1.8.6	介護職員等特定処遇改善加算に係る研修会	調布市福祉健康部高齢者支援室	調布市文化会館たづくり	1	2	1
39	R1.8.6	面接メソッドセミナー	エン・ジャパン	エン・ジャパン	1	1	1
40	R1.8.14	2019年度第1期東京都介護支援専門員専門研修課程II	東京都福祉保健財団	ルミエール府中	6	2	6
41	R1.8.18	日本予防理学療法学会 第5回サテライト集会	日本予防理学療法学会	筑波大学東京キャンパス	1	1	1
42	R1.8.20	ベテランのためのビジネスマナー研修	インソース	駿河台ヤギビル	1	1	1
43	R1.8.22	セルフ・キャリアドック説明会	セルフ・キャリアドック説明会	大原学園	1	1	1
44	R1.8.22	面接メソッドセミナー	エン・ジャパン	エン・ジャパン	1	1	1
45	R1.8.22	令和元年度 福祉事業所のための研修体系確立・推進研修～研修の基本を学び職場研修の体制を作ろう～	東京都社会福祉協議会	東京都社会福祉保険医療研修センター	2	1	2
46	R1.8.25	令和元年度自立支援・介護予防に向けた地域ケア会議実践者要請研修事業	東京都福祉保健財団	東京都福祉保健財団	2	1	2
47	R1.8.26	経営者・人事のための成長志向の組織を作る人事戦略セミナー	エン・ジャパン	エン・ジャパン	1	1	1
48	R1.8.26	年末調整の業務効率化、電子申請・電子申告、雇用契約の効率化等の研修	エフアンドコム	エフアンドコム東京本社	1	1	1

49	R1.8.26	分野を超えた相談支援体制づくり～地域共生社会の実現のために～	東京都福祉保健局	東京都健康プラザハイジア	1	1	1
50	R1.8.27	消費税軽減税率実務対応セミナー（東京Ⅲ）	公益法人協会	仏教伝道センタービル	1	1	1
51	R1.8.28	人事評価制度セミナー	あしたのチーム	ギンザシックス	1	1	1
52	R1.9.6	令和元年度全国労働衛生週間説明会	東京労働基準協会連合会	武蔵野スイングホール	1	1	1
53	R1.9.9	令和元年度認知症介護研究・研修東京センター研究成果報告会「認知症ケアセミナー」認知症地域共生社会をつくる	浴風会認知症介護研究・研修東京センター	浴風会認知症介護研究・研修東京センター	1	1	1
54	R1.9.10	新任の役員・職員の方に一度は聞いて欲しい話	公益法人協会	中央大学駿河台記念館	1	1	1
55	R1.9.10	男女脳差理解によるダイバーシティ・コミュニケーション研修	パーソル総合研究所	東京ミッドタウン・カンファレンス	1	1	1
56	R1.9.12	2019年度地域ケア会議 第1回「かかわりづらさ」につながる精神疾患	調布市地域包括支援センターせいじゅ	調布市地域包括支援センターせいじゅ	1	1	1
57	R1.9.12	令和元年度区市町村職員等高齢者権利擁護研修「擁護者による高齢者虐待対応研修（基礎研修・第二回）」	東京都福祉保健財団	あいおいニッセイ同和損保新宿ビル	1	1	1
58	R1.9.13	MBOの失敗事例と人事評価の最新事例から学ぶ	カオナビ	カオナビ本社	1	1	1
59	R1.9.17	公益法人・一般法人 会計セミナー「実務編」	公益法人協会	中央大学駿河台記念館	2	1	2
60	R1.9.19	労働契約等解説セミナー	厚生労働省	東京中小企業会館講堂	1	1	1
61	R1.9.24	求職者の心に届く広報活動とは 広報力を高め採用に強い組織をつくる	東京都福祉人材センター	家の光会館	1	1	1
62	R1.9.26	「lon1 ミーティング」体験型セミナー	シーグリーン	貸会議場 シアル	1	1	1
63	R1.9.27	第46回 国際福祉機器展 H.C.R.2019	全国社会福祉協議会 保健福祉広報協会	東京ビッグサイト	1	3	1
64	R1.10.1	介護支援専門員専門研修課程Ⅰ	東京都福祉保健財団	東京都福祉保健財団	7	1	7
65	R1.10.2	住民参加型たすけあい活動部会 コーディネーター学習会	東京都社会福祉協議会	飯田橋セントラルプラザ	1	1	1
66	R1.10.3	令和元年度多摩地区障害者雇用促進セミナー	多摩地区ハローワーク	立川地方合同庁舎ハローワーク立川	1	1	1
67	R1.10.3	令和元年度調布市介護支援専門員研修スーパービジョン研修	調布市	10/3 たづくり 11/7 あくろすホール	2	2	2
68	R1.10.6	令和元年度自立支援・介護予防に向けた地域ケア会議実践者要請研修事業	東京都福祉保健財団	東京都福祉保健財団	2	1	2
69	R1.10.7	令和元年度社会保障・人口問題基礎講座	厚生労働統計協会	品川フロントビル	3	1	3
70	R1.10.8	生産性向上セミナー	ニコハチ	秋葉原UDX	1	1	1
71	R1.10.8	ファシリテーター育成4日間講座	全国援助職ネットワーク	飯田橋セントラルプラザ	4	1	4
72	R1.10.8	令和元年度第3回 東京都キャラバン・メイト養成研修	東京都福祉保健局	国立オリンピック記念青少年総合センター	1	1	1
73	R1.10.8	報連相で極めるビジネスコミュニケーション講座	東京商工会議所	丸の内二重橋ビル 東京商工会議所	1	1	1
74	R1.10.9	令和元年度社会保障・人口問題基礎講座	基礎講座事務局 厚生労働統計協会	品川フロントビル	1	1	1
75	R1.10.10	介護支援専門員調布市連絡協議会 令和元年度第二回研修会 多職種連携の仕方を学ぶ	介護支援専門員調布市連絡協議会	調布市文化会館たづくり	1	2	1
76	R1.10.11	新任の役員・職員のための制度運営セミナー	公益法人協会	仏教伝道センタービル	1	1	1
77	R1.10.15	給与決定ルールに関するセミナー	あしたのチーム	あしたのチーム本社	1	1	1
78	R1.10.17	「ちようふ在宅ネット」MC S体験会	調布市医師会	調布市医師会館	1	5	1
79	R1.10.19	第6回日本予防理学療法学会学術大会	日本予防理学療法学会	広島国際会議場	2	1	2
80	R1.10.23	事例検討会	調布市医師会, ちようふ花ぞの, ちようふの里, ケア21, 狛江ひだまり, ゆうあい福祉公社	ときわぎ国領	1	2	1
81	R1.10.23	平成31年度 調布市認定調査員 新規研修	調布市福祉健康部 高齢者支援室	調布市文化会館たづくり	1	2	1
82	R1.10.23	福祉職員 管理職・施設長研修	調布市社会福祉協議会	調布市こころの健康支援センター	1	1	1
83	R1.10.24	「lon1 ミーティング」体験型セミナー	シーグリーン	貸会議場 シアル	1	1	1

84	R1.10.28	区市町村等福祉用具事業説明会	東京都福祉保健財団	東京都福祉保健財団	1	1	1
85	R1.10.28	公益・一般法人の実践簿記会計講座(基礎コース)	全国公益法人協会	日本教育会館	1	1	1
86	R1.10.28	キャリアパス対応生涯研修課程《福祉職員職務階層別研修》「チームリーダー研修」	東京都社会福祉協議会	東京都社会福祉保険医療研修センター	2	1	2
87	R1.10.30	高次脳機能障がい事例検討会	調布市社会福祉協議会 障害者地域活動支援センタードルチェ	調布市総合福祉センター	1	1	1
88	R1.10.30	労働契約等解説セミナー	厚生労働省	東京中小企業会館講堂	1	1	1
89	R1.10.31	キャリアパス対応生涯研修課程《福祉職員職務階層別研修》「チームリーダー研修」	東京都社会福祉協議会	東京都社会福祉保険医療研修センター	2	1	2
90	R1.11.1	過重労働解消のためのセミナー	過重労働解消セミナー運営事務局	新宿区 LEC 新宿エルタワー	1	1	1
91	R1.11.8	自社内における“同一労働同一賃金”実務対応セミナー	アデコ	アデコ 新宿センタービル	1	1	1
92	R1.11.8	住民参加型たすけあい活動部会 コーディネーター学習会	東京都社会福祉協議会	飯田橋セントラルプラザ	1	1	1
93	R1.11.14	心理学×脳科学でストレスに強い社員を育成する～レジリエンスを高めるマネジメント手法～	キャノンシステムアンドサポート	PC視聴	1	1	1
94	R1.11.14	年末調整等説明会	東京国税局	調布市グリーンホール	1	3	1
95	R1.11.15	障害者雇用支援セミナー	東京都労働局	新宿エルタワーサンスカイルーム	1	1	1
96	R1.11.17	2019年度日本認知症ケア学会関東ブロック大会「認知症の人のエンパワメントを最高する」	日本認知症ケア学会	幕張メッセ国際会議場	1	1	1
97	R1.11.19	キャリアパス制度と特定加算を活用した人事管理	東京都高齢者福祉施設協議会	家の光会館	1	1	1
98	R1.11.21	Ai時代の人事労務における戦略的データ活用	首都大学東京オープンユニバーシティ	エン・ジャパン	1	1	1
99	R1.11.21	適性テスト活用ノウハウセミナー	エン・ジャパン	エン・ジャパン	1	1	1
100	R1.11.21	民法改正がビジネスに与える影響への対策	東京商工会議所渋谷支部	渋谷区商工会館	1	1	1
101	R1.11.21	労災保険実務講座	東京労働基準協会連合会	武蔵野スイングホール	1	2	1
102	R1.11.22	過重労働解消のためのセミナー	LEC 東京リーガルマインド	LEC 新宿エルタワー本校	1	1	1
103	R1.11.23	高齢者の食環境整備事業	東京都福祉保健局	社会福祉法人緑風会 緑風壮病院	2	1	2
104	R1.11.27	公益法人・一般法人のための『経理入門』講座	全国公益法人協会	公社	1	2	1
105	R1.11.27	公益法人のための立入検査総合対策実施研修	全国公益法人協会	公社	1	2	1
106	R1.12.3	平成31年度安全運転管理者法定講習	東京都安全協会	なかのZEROホール	1	1	1
107	R1.12.4	公正採用選考人権啓発推進員研修会	ハローワーク府中	ルミエール府中	1	1	1
108	R1.12.5	KDDI オフィスフェア	KDDI まとめてオフィス	日本橋プラザビル	1	1	1
109	R1.12.5	人材開発の新常識！教えない育成法	パーソル総合研究所	AP 新橋	1	1	1
110	R1.12.6	配るマネジメント研修	パーソル総合研究所	東京ミッドタウン・カンファレンス	1	1	1
111	R1.12.6	福祉職員定着・育成セミナー	東京都福祉人材センター	東京都社会福祉保険医療研修センター	1	1	1
112	R1.12.7	第27回ニッセイ財団高齢社会ワークショップ	日本生命財団	日本生命日比谷ビル	1	1	1
113	R1.12.8	第33回ニッセイ財団シンポジウム『高齢社会を共に生きる』	日本生命財団	イイノホール	1	1	1
114	R1.12.10	シミュレーション体験研修	パーソル総合研究所	東京ミッドタウン・カンファレンス	1	1	1
115	R1.12.10	地域人材育成講座 明日から実践!みんなで決める効果的な会議の方法	調布市民プラザあくろす	調布市民プラザあくろす	2	4	2
116	R1.12.12	気づけないサイバー攻撃を見つけ、リスクを軽減するセキュリティ対策とは	富士通	FUJITSU SECURITY INITIATIVE CENTER	1	1	1
117	R1.12.12	居室系サービス向け 高齢者虐待防止研修	東京都福祉保健局	練馬文化センター	1	4	1
118	R1.12.12	高齢者の食環境整備事業	東京都福祉保健局	国立大学法人東京医科歯科大学	2	1	2
119	R1.12.12	社会保険の電子申請義務化・労基法対策の徹底解説!	エフアンドエムPCA	PC視聴	1	2	1

120	R1. 12. 12	職場のハラスメントから身を守るろう	東京都労働相談情報センター	東京都八王子労政会館	2	1	2
121	R1. 12. 12	ハーバード流「交渉学」体験セミナー	パーソル総合研究所	東京ミッドタウン・カンファレンス	1	1	1
122	R1. 12. 14	地域包括支援センターで働く看護職のための交流会	東京都看護協会	東京都看護協会	1	1	1
123	R1. 12. 18	令和元年度東京都地域包括支援センター職員研修	東京都福祉保健財団	東京都福祉保健財団	2	1	2
124	R1. 12. 24	自立支援・重度化防止に向けた主任介護支援専門員・保険者研修	東京都介護支援専門員研究協議会	ベルサール神保町	3	1	3
125	R2. 1. 16	令和元年度家庭裁判所研修・関係機関連絡会	多摩南部成年後見センター	調布市総合福祉センター	1	1	1
126	R2. 1. 17	平成 31 年度栄養管理講習会 (9 回)	東京都多摩府中保健所	多摩府中保健所	1	1	1
127	R2. 1. 18	実践力 UP 事例検討会『保健指導ミーティング』ファシリテーター養成講座	東京看護協会保健師職能委員会 東京都看護協会多摩南地区支部共済	東海大学医学部付属八王子病院	1	1	1
128	R2. 1. 18	地域における認知症対応実践講座	日本認知症ケア学会 ユーザイ	CICV 研修センター日本橋	1	1	1
129	R2. 1. 20	マネジメントスタンダードプログラム for kaigo	シルバーウッド	赤坂インターシティコンファレンス GREEN	1	1	1
130	R2. 1. 21	食品衛生実務講習会	東京都多摩府中保健所	調布市文化会館たづくり	1	1	1
131	R2. 1. 23	2019 年第 17. 18. 19. 20 回東京都認知症介護実践者研修	東京都福祉保健局	東京都社会福祉保険医療研修センター	6	1	6
132	R2. 1. 30	伝わるデザインと情報発信の極意	調布地域情報化推進協議会	調布市文化会館たづくり	1	1	1
133	R2. 1. 31	リ・アセスメント支援シートを活用したケアプランの作成	調布市福祉健康部高齢者支援室	調布市文化会館たづくり	2	4	1
134	R2. 2. 3	スーパービジョン研修社会福祉の専門家としての職員の成長を支える～人と職場の育ち方解決志向アプローチを活用～	東京都社会福祉協議会	東京都社会福祉保険医療研修センター	1	1	1
135	R2. 2. 4	消費税申告の実務	公益法人協会	仏教伝道センタービル	1	1	1
136	R2. 2. 5	食品衛生実務講習会	多摩府中保健所	武蔵野公会堂ホール	1	1	1
137	R2. 2. 5	36 協定届出書作成方法及び働き方改革に関するセミナー	東京労働局労働基準部監督課	T K P スター会議室	1	2	1
138	R2. 2. 6	管理職員研修	東京都社会福祉協議会	東京都社会福祉保険医療研修センター	2	1	2
139	R2. 2. 7	介護支援専門員 再研修	東京都福祉保健財団	東京都福祉保健財団	6	1	3
140	R2. 2. 7	公益法人の運営等に関する説明会	東京都生活文化局都民生活部管理法人課	東京都消費生活総合センター	1	1	1
141	R2. 2. 7	認知症の人による社会参加活動推進フォーラム～認知症地域支援推進員のチャレンジ～	認知症介護研究・研修東京センター	有楽町朝日ホール	1	1	1
142	R2. 2. 13	現場で『本音の』認知症	調布市在宅ケアの輪	調布市民民プラザあくろす	1	1	1
143	R2. 2. 13	ゲームで学ぶ「お金をかけずに生産性を向上させる方法」	キャノンシステムアンドサポート	P C 視聴	1	1	1
144	R2. 2. 13	スーパービジョン研修社会福祉の専門家としての職員の成長を支える～人と職場の育ち方解決志向アプローチを活用～	東京都社会福祉協議会	東京都社会福祉保険医療研修センター	1	1	1
145	R2. 2. 14	管理職のためのメンタルヘルス講習	東京都社会福祉協議会	東京都医師会館	1	1	1
146	R2. 2. 15	2019 年度 (新) 連携強化研修 精神的な課題を持つ家族と高齢者をチームで支える～虐待と看保連携	東京都看護協会	東京都看護協会	1	1	1
147	R2. 2. 21	「パラハートちょうふ 2020」障害者差別解消法職員研修	調布市障害福祉課	調布市文化会館たづくり	1	2	1

イ 社内研修

No.	研修日	研修名	主催	会場	研修日数	参加人数	参加日数
1	R1. 8. 4	普通救命講習会	公社	公社	1	15	1

(4) 事業報告書附属明細書について

該当なし